



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 宰 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「本当の夢」

今夏七月号の『飢餓対策ニュース』に載った記事である。私たち日本やアメリカに住んでいる者には考えられないアフリカの子どもたちの夢に目が覚めた。

数年前アフリカ、エチオピアの村を訪問した時のことです。村の子どもたちは大勢集まって、同行した親善大使の森祐理さんの歌に聞き入っていました。歌い終わった彼女が子どもたちに、「皆さんの将来の夢は何ですか？」と尋ねると、そこにいた多くの子どもたちが少し困惑したような顔をして、しばらく考え込んだあと、「ドライバーになりたい」「洋裁の仕事がしたい」「学校の先生」と教えてくれました。マラソン選手と答える子どももいなかったのは意外でしたが、都市部から遠くはなれたこの村にはテレビもなく、自分の国がマラソン強国であるという事すら知らなかったからでしょう。しかし、私たちはその後のスタッフの説明に言葉を失いました。「この子たちの本当の夢は、大人になることなんですよ・・」。エチオピアの5才未満の幼児死亡率は一〇〇〇人中68人(日本は一〇〇〇人中3人)。子どもたちにとっては身近な友だちや兄弟が死に行く姿を目の当たりにして、「次は自分かもしれない」と恐れと不安を抱えています。大人になるという私たちにとっては当たり前のことを、この子たちは夢見ていました。子どもたちがどんな国に生まれても、どんな環境に置かれても、大人になることが当たり前の世界、夢を持って生きることがかなう社会、開かれた未来が自分を変えるだけでなく、誰しもが教育を受け、尊重される平和な国へとその国を変革する者となることを、私たちは願っています。

マタイ福音書で主イエスは、「何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのようにせよ」(七・12)と命じている。これは黄金律といわれ、聖書の教えの最高峰である。つまり貧困のゆえに幼くして死んでゆく子どもたちに対して、主はとかく自分自身を中心に考えやすい私たちに、少しでも彼らの夢実現のために愛の手を差し伸べることを願っておられる、というのだ。

それは何もエチオピアに出かけて行って援助の手を差し伸べるといふことばかりではない。私たちの身の回りには、生きる望みをすら失っている人の何と多いことか。人は人の愛を通して神の愛に目覚めてゆく。それが生きる力となっていく。実はそれが人類の必要としている本当の夢なのではあるまいか。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

